

# 組合員の声を反映しJA事業の充実へ ～令和7年度春期組合員座談会意見集約～

JAは3月11日から21日まで、管内14会場で春期組合員座談会を開きました。常勤役員や理事、幹部職員が地域へ出向き、組合員の声を聴く大切な場として位置付け、広く組合員の声を聴き、JA事業の充実を図っていきます。

座談会では、令和6年度事業実践経過や令和7年度事業計画の素案、第4次中期経営計画第2年度の振り返り、JA自己改革工程表について説明しました。

特集1では、春期組合員座談会で寄せられた主な質問や意見・要望とそれに対するJAの考え方を紹介します。



## 座談会での主な質問・要望

### ◎宮農・畜産部門関連

**Q** 令和6年産の米概算金について、岩手県の追加払いの発表が遅かった。また、米の価格が大幅に上がり、追加払いもあったが、他の業者はそれ以上に高かった。令和7年産米についても、すでに決まっている県もあるようだが、どのような状況か。

**A** 令和6年産米の価格設定については、JAグループとしても大きな課題を残しました。最初の概算金の提示が大事だと考えており、いろいろな情報を集めています。全農からの提示が8月の予定であるため、8月には概算金価格を発表したいと考えています。また、米の集荷にも全力で取り組んでまいります。

**Q** 米の「シン方式」とは何か分からない。農家組合長会議の資料にも詳しく書いていない。広報誌に大きく載せていたが、それ以降何も説明がなかった。周知が不十分ではないか。今後もシン方式を

行うのであれば、再度周知が必要だ。  
**A** これまで米の精算金については、「早期に支払ってほしい」というご意見がありました。そのため、年内に追加概算金をお支払いする「年内精算シン方式」を令和6年産米より始めました。引き続きニーズに合った集荷対策を検討し周知いたします。

**Q** スマート農業の説明があったが、機械の設備投資で結局マイナスになる。中山間地域ではスマート農業はできない。人口減少、高齢化に合った方法にしてほしい。

**A** スマート農業は、基盤整備を実施している圃場であればコストを抑えることができるため、推進していきます。山間地では、中山間事業は継続すると思いますので、それに合わせて支援をしなければならぬと思っています。



Q Jークレジットの取り組み結果を教えてください。

A 令和6年度は、83経営体が約1000頭で取り組み、農業由来のカーボンプレジットの生成と販売を行った生産者は33人となりました。

Q 小規模な農家では後継者がいない。次世代とJAがつながりを持てるような対策をしてほしい。

A 少子高齢化の厳しい環境の中、後継者不足は大きな課題であるため、新規就農者の増加や農業収入の安定に一層努めてまいります。

Q ネオニコチノイド系農薬が問題となっているが、効果のあるカメムシ防除の事例を発信してほしい。

A 環境に配慮した農薬を使用する観点から、現在試験をしております。当面は、水田周辺の草刈りなどを徹底するなどの対応をしていきます。

Q 子牛の出荷頭数が減少し、1日平均約200頭のため、県南子牛市場を1日開催で出荷頭数400頭にできないか。

A 令和8年度から、子牛市場の開催を県南1日とするなどを検討しています。

### ◎信用・共済部門関連

Q 信用事業の落ち込みの理由は何か。

A JAの信用事業は、組合員の皆さまからの「貯金」を原資に組合員等へ融資をしております。貯金から貸出金を差し引いた残りを「余裕金」と呼び、岩手県信連への預け入れを主体とし、有価証券での運用も行ってまいります。

日銀の金融政策変更により金利が上昇したことから、保有していた有価証券（受益証券）について信託期間満了まで保有してもプラスとなる見込みがなく、リスクの拡大を防ぎ課題を先送りしないという判断により処分しました。その結果、信用事業収益が大きく落ち込むこととなりました。令和6年12月に受益証券は全て処分し、現在は同様のものではありません。



Q 農林中央金庫の赤字によるJAへの影響はあるのか。

A 農林中央金庫の財務状況が、当JAへの収支および貯金に直接影響を及ぼすことはありません。農林中央金庫の増資については、当県は岩手県信連が対応しております。資本増強が実施されたことにより、次年度以降は安定的な黒字が見込まれ、強固な収益基盤の確立が図られております。

Q 支店再編で、支店によっては来店客が多く混雑し、待ち時間も長い。窓口対応の職員も少なく感じる。

A 業務システム上、担当者以外で対応できないことをご理解いただきたいと思っております。また、コミュニティ支店では貸付業務を行わないため、人員配置的に限られた人数で対応しています。店舗運営上の窓口対応人員は確保していますが、今以上の増員は難しい状況です。今後も、組合員の皆さまの利便性の向上を図ってまいります。



◎経済部門関連

**Q** 配達された種もみは「マル準」であった。「マル準」が納品されているのは県内でJA江刺と当JAだけのようであるがなぜか。また、価格は下がるのか。配達時期が遅れたのはなぜか。

**A** 当JA管内には採種圃場がなく、江刺で採取された種もみが納入されており、「合格」と「マル準」では、見た目が多少違いますが、発芽率に違いはありません。納入価格が5%ほど値下げのため売価も同様となる見込みです。配達の違いについては、昨年の高温障害等により数量確保が難しく入荷が遅れたことが挙げられます。

**Q** 肥料について、20<sup>キ</sup>は重いため、15<sup>キ</sup>にできないものか。

**A** 15<sup>キ</sup>の方が作業効率は良いと考えており、集落営農組織等で作業試験を実施



し、問題ないとの評価をいただいています。令和7年度の注文書には掲載できませんが、次年度の注文書には掲載できるように取り組んでいます。

◎経営・総務・管理部門関連

**Q** 地区運営委員会を無くし、総代会を充実させた方がいいのではないか。

**A** 運営委員会は、新年度事業計画について意見交換をする場として開催しているため、必要な会議と考えています。

**Q** 農家組合長手当の減額は、通知だけではなく説明も必要だったのではないか。

**A** 周知方法に問題があったことは誠に申し訳なく、おわびいたします。赤字決算の影響もあり、役員手当の大幅減や青年部・女性部など全てにおいて費用の削減をさせていただきました。

**Q** 昨年度、賦課金が上がったが、その効果はあったのか。

**A** 合併以降、賦課金の改定がされておらず、経営改善等のため、賦課金の見直しをさせていただきました。県内JAの

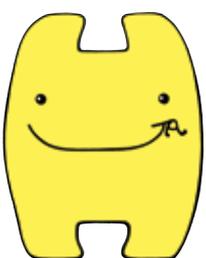
賦課水準と比較して当JAは低かったこともあり、改定しておりますが、今後も、効果的な営農指導に結び付けてまいります。

◎その他の主な意見・要望

・収支シミュレーションで改善効果が5億1000万円であるが、このままだと経営に影響があるのではないか。JA独自のアイデアを創出する必要があるのではないか。

・マスコミは、農産物価格が高いと書き立てるが、価格が高いわけではない。低価格に戻すのではなく、農業にかかる費用を消費者に示し、理解を得る活動をJAがしてほしい。

・若い職員の活動に対してほめて伸ばすなどやりがいのある明るい職場づくりを指導・推進してほしい。

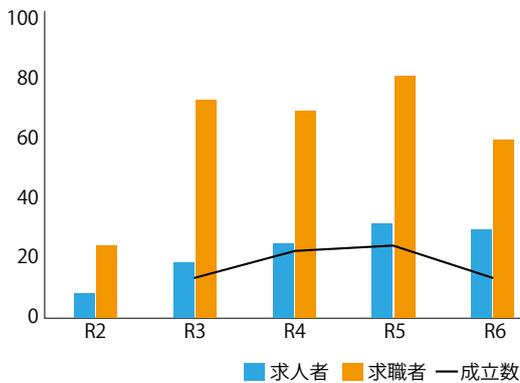


# 労働力確保に向けて

## JA 無料職業紹介所グリーンワークの取り組み

JAでは、持続可能な農業振興のため新規就農者の確保や産地の規模拡大・維持を図っています。農業で経営を成り立たせるためには一定規模以上の経営面積が必要で、雇用労力は欠かせません。特集2では、JAの労働力確保の取り組みと利用者の声を紹介します。

マッチング会における求人者と求職者・成立件数の推移 (人、件)



働き手の多様性により、労働力の確保は難しい状況になっており、生産者側でも雇用条件の改善や働きやすい環境の整備などにも取り組んでいます。

JAでは、令和元年に「JAいわて平泉無料職業紹介所グリーンワーク」を開設し、JAが求人者と求職者における雇用関係の仲介を行っています。また、パート・アルバイトマッチング会は年1回開催しており、求人者である農家と求職者が面談を行い、作業内容や労働条件などを確認する場を設けています。

働き手を求める生産者は、年々増加傾向にあり、令和5年からは、グリーンワーク機能を補完する1日農業バイトアプリ「デイワーク」を導入し、農家の労働力確保に取り組んでいます。



菅原 宗一郎さん

一関市滝沢 トマト16歳



4～11月に収穫作業を中心に雇用するためグリーンワークを利用し、繁忙期でさらに人手が必要な時は「デイワーク」も活用しています。また、トイレの設置や空調服の支給など働きやすい環境を整えています。労働力が必要な農家はたくさんおり、みんな工夫をしながら環境を整えているので、興味があったら来てほしいと思います。



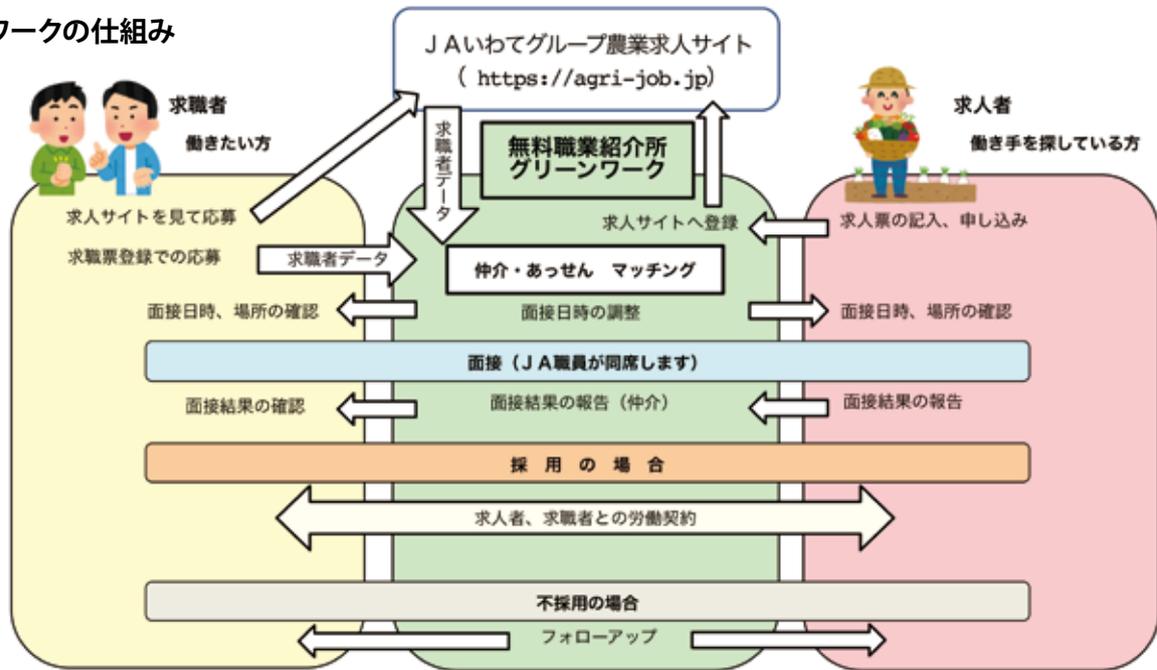
畠山 貴一さん

室根町 ピーマン44歳



常時雇用の他、ピーマンの収穫時期には人手がさらに必要なためグリーンワークを利用し、労働力を確保したいと考えています。ピーマン苗の生産など、2～11月まで長期間にわたって働ける工夫をしながら、常時雇用につながるようにしています。一人で何でもできるよう作業を覚えてもらうようにしています。

## グリーンワークの仕組み



## 1日農業バイトアプリ「デイワーク」



農作業パート・アルバイトマッチング会を4月23日、管内2会場で開きました。労働力を必要とする園芸農家と、求職者の面談形式で行われ、園芸農家は、作業内容や労働条件などを説明し、求職者の希望する条件などを確認しました。

## JA無料職業紹介所グリーンワーク

一関市川崎町薄衣字久伝18-1  
 営農振興センター2階 営農部  
 営農振興課 TEL 34-4001  
 園芸課 TEL 34-4003

HPは  
こちらから



農業を支えてくれる方の申し込みをお待ちしています!!



藤野 寿美さん  
 千厩町 小菊2・6 鉢



農業の求人に来てくれてありがとうという気持ちでマッチング会に参加しています。小菊は収穫期間が限られており、人手がないと収穫や出荷ができません。農業は作物と天候に左右されることなどを理解してもらい、お互いの歩み寄りで常時雇用につながる他、短時間でも来てもらえる方がいると安心して作付けすることができます。